

基山町の特産品
高速バスで輸送
西鉄、あすから実証実験

佐賀県基山町と西日本鉄道（福岡市）が連携し、高速バスを使って大型農産物の加工食品など同町の特産品を福岡市に運ぶ貨客混載の実証実験を8日から始める。2月4日まで実施し、事業化の可能性を探る。実証実験では西鉄高速バス「わかす号」（佐賀第二合同庁舎―西鉄天神高速バスターミナル）を利用して、九州自動車道基山パーキングエリア（上り）で集荷。運んだ特産品は、福岡市・天神のアンテナショップ「西鉄縁線駅みやげ」で販売、町のPRにもつなげる。

基山町はオーストラリアに生産するエミューによる「まわもじ」に注力。今回もエミューのカレーや肉みそ、ハムなどを輸送・販売する予定という。

実証実験は次世代交通サービスに先行的に取り組む地域なびを支援する経済産業省の「スマートモビリティチャレンジ」の一環。高速バスを活用した貨客混載を巡っては、西鉄はこれまで宮崎・福岡間、福岡―東京間などで、期間や便数を限定して実施している。（山本諒）

まるまる1本

基山町 スマートモビリティ実証 開始

持続可能な地域交通に

【基山町】 持続可能な公共交通サービスを目指す「スマートモビリティチャレンジ実証実験」が8日、基山町内で始まった。同町役場前で開いた出発式には関係者約40人が参加。テープカットを行い、有意味な実験になるよう期待した。2月4日まで実施する。

実験は、町内を南北に学シャトルバスや、基山走るけやき通りを通るシャトルバスと、げやき台市天神のアンテナショップの住民を対象にしたオプションに加工品などを送るオンデマンド交通の2本柱。客混載にも取り組む。で実施。併せて通勤・通 出発式では、松田一也

テープカットしてスマートモビリティ実証実験の成功を期待する関係者
—基山町役場前

通勤・通学シャトルバス、貨客混載…

町長が「町民の協力を得ないと実験はうまくいかない。多くの町民に参加してもらい、結果をコミユニティバスの高度化などに活かしていきたい」とあいさつ。計画を推進した「きやま地方創生モビリティ研究会」の関係者や運行事業者らでテープカットを行った。

オンデマンド交通は利用者が限定されているが、シャトルバスはだれでも利用可能。バス停やバス車内で配布される乗車カードを使って無料で利用できる。シャトルバスは西鉄バス佐賀、オンデマンド交通は基山タクシーが運行する。問い合わせは同町定住促進課、電話0942（92）7920。（齋藤健太郎）

シャトルバスに使用する車両とオンデマンド交通用のタクシー

みやま 神埼 近 健康まちづくり

鳥栖市